

流れる馬簾は、

「黄金の波」のように。

まさに、「流」。

流福麗

岩屋神社神幸祭

弁 城地区の「岩屋神社神幸祭」が、5月11、12日に行われました。天候に恵まれた2日間、福岡や北九州からも大勢の観客が来訪。昇き手は額の汗を拭うことも忘れ、一心に山笠を押し続けました。

2日目には岩屋神社裏に神輿と山笠7基が集合し、競演会を開催。高速の鉦の音とともに、山笠を揺らし馬簾がしなる様は、風に「流れる」波のようでした。各地区5分間で最後の力を振り絞った演技を披露し、五穀豊穣を祈る春祭りの最後を盛大に飾りました。

日本各地から岩屋神社の「御朱印」を求めてご参拝

寺社に参拝した証である「御朱印」。岩屋神社・神主の手島直和さんは、多くの方に参拝してほしいと、昨年からの得意な絵を生かした挿絵付きの御朱印記帳を開始。全国的な話題となり、記帳依頼数も以前の240倍になりました。「参拝者が笑顔になるような御朱印を書いていきたい」と笑顔を見せた手島さん。この機会に、みなさんも岩屋神社を参拝してみたいか。

春田 | HARUDA

地区の平塚さんが人形飾りを手がける「春田」の山笠。珍しい銀の虎をはじめ、地区住民も誇る迫力ある人形飾りの数々を披露しました。

久六 | KYUROKU

地区子ども会の活動が盛んな「久六」地区。子どもたちの「エンヤーヤッサ」のかけ声とともに元気いっぱい地区内を練り歩きました。

新町 | SHINMACHI

町内の多くの山笠人形を手がける富田人形の地元「新町」地区の山笠。今年は神輿当番の大役も務め、祭りの中核を担いました。

迫 | SAKO

高さと横幅の大きさが際立つ「迫」の山笠。地元青年団が活躍し、山笠を上下に揺さぶるなど、若さあふれる練り回しを披露しました。

上弁城 | KAMIBENJO

他地区より福智山麓に近い「上弁城」の山笠。熟練の昇き手と安定した囃子で起伏の激しい総距離16kmを勇猛果敢に移動しました。

宝珠 | HOJU

「宝珠」の山笠は開きの大きさが特徴。競演会では若い指揮者の力強い鼓舞とともに、活気ある練り回しを披露し、大きな歓声を浴びました。

浄満寺 | JOMANJI

弁城地区の山笠で唯一、金色のボンカン飾りを使用している「浄満寺」の山笠。幅広い世代が団結して、山笠を運行しました。

1 多くの観衆が見守る神幸祭最大の見せ場、山笠競演会。2 祭りの安全を祈祷する神事。3 五穀豊穣を祈る春祭りを象徴するような、田園風景を進む山笠。4 自身の何倍も巨大な山笠を必死に引く子どもたち。5 鉦と太鼓が織りなす囃子が弁城の特徴。6 世代を超える地域の一大行事。7 昇き棒が地面を削り巻き起こる砂煙。8 全地区協力して担いだ神輿。9 地区の練り回しにも注目。10 一条乱れぬ昇き手の動きと連動して大きく揺れる山笠。

新町氏子中
平成十年九月吉日